



## 8 式と計算のきまり (A)

1 次の計算をしましょう。あまりがあれば、あまりも答えましょう。

(1)  $72 \times 6 - 125 \div 5$

$= 432 - 25$

$= 408$

(2)  $189 - (187 - 5 \times 4)$

$= 189 - (187 - 20)$

$= 189 - 167$

$= 22$

(3)  $56 + 12 \times (24 - 19)$

$= 56 + 12 \times 5$

$= 56 + 60$

$= 116$

(4)  $168 \div (71 \times 3 - 192)$

$= 168 \div (213 - 192)$

$= 168 \div 21$

$= 8$

2 次の計算をしましょう。

(1)  $34 \times 20 \times 5$  先に  $20 \times 5$  で  
100 をつくりましょう  
 $= 34 \times 100$   
 $= 3400$

(2)  $4 \times 17 \times 25$  先に  $4 \times 25$  で  
100 をつくりましょう  
 $= 100 \times 17$   
 $= 1700$

(3)  $1002 \times 32$   
 $= 1000 \times 32 + 2 \times 32$   
 $= 3200 + 64$   
 $= 3264$

(4)  $125 \times 14 \times 8$  先に  $125 \times 8$  で  
1000 をつくりましょう  
 $= 1000 \times 14$   
 $= 14000$

(5)  $37 \times 69 + 37 \times 31$   
 $= 37 \times (69 + 31)$   
 $= 37 \times 100$   
 $= 3700$

(6)  $131 \times 54 - 31 \times 54$   
 $= (131 - 31) \times 54$   
 $= 100 \times 54$   
 $= 5400$

3 次の式の  に当てはまる数を答えましょう。

(1)  $\boxed{103} \div 7 = 14$  あまり 5

$\bigcirc \div \Delta = \square$  あまり  $\odot$  なら

$\Delta \times \square + \odot = \bigcirc$

$7 \times 14 + 5 = 103$

(2)  $248 \div \boxed{13} = 19$  あまり 1

あまりが1なので  $248 - 1 = 247$  で  
わり切ることができる。

$247 \div 19 = 13$

(3)  $21 \times 10 - 8 \times \boxed{15} = 90$

$210 - ? = 90$  なので、

? には 120 が入る

$120 \div 8 = 15$

(4)  $(14 \times \boxed{9} + 24) \div 5 = 30$

$? \div 5 = 30$  なので、 $30 \times 5 = 150$

? には 150 が入る

$14 \times \square + 24 = 150$  なので、

$14 \times \square = 126$ 、 $126 \div 14 = 9$